

小学1・2年生向け

かみなり

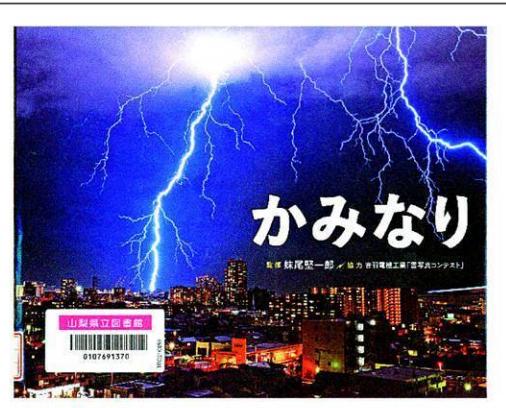
妹尾堅一郎監修 音羽電機工業「雷 写真コンテスト」協力

みんなは雷の正体を知っていますか？ 夏になると多くなる雷は、ゴロゴロと鳴り、ピカッと空を光らせ、大きな音をたてて地面に落ちてきます。

雷の力はとても強く、建物を壊したり、人の命

を奪ったりすることもあります。この本は、雷の正体や、どうして雷が鳴るのかなどを、空をジグザグと走る稲妻や、ビルや飛行機に雷が落ちた瞬間などの写真でわかりやすく紹介する写真絵本です。本の後半には、雷が生まれる仕組みや、雷の危険から身を守る方法、「かみなり」と呼ばれる理由などを知ることができる解説のページもあります。雷について知りたい人におすすめの一冊です。

(ポプラ社 1760円)

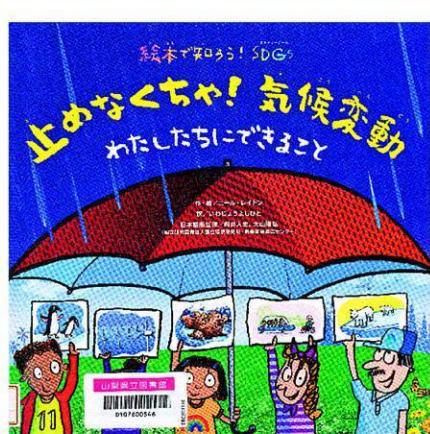


小学3・4年生向け

止めなくちゃ！ 気候変動 わたしたちにできること
ニール・レイトン作・絵 いわじょうよしひと訳
向井人史、大山剛弘日本語版監修

地球は、誕生してから長い時間をかけて変化し、「酸素」「暖かさ」「水」「食料」がそろい、生き物が住みやすい環境になりました。ところが現在は、地球全体の気温が上がったため、大雨が増えたり、日照りが続き雨が降らなかったりと、「気候変動」と呼ばれる問

題が世界各地で起きています。気候変動により、野生動物は食べ物やすむ場所を失っているそうです。なぜ気温が上がったのでしょうか？ 原因は、300年前に燃料を燃やして動かす機械を作り始めたことでした。気候変動は、「地球上のすべての生き物に関わる、大きな問題」です。気候変動を止めるために私たち一人一人に何ができるかを考えるきっかけとなる本です。



(ひさかたチャイルド 1760円)

図書館へようこそ

小学5・6年生向け

災害伝承の大研究

命を守るために、どう伝える？ 佐藤翔輔監修

災害伝承とは、災害の経験から得た記憶や記録、教訓を、文書や石碑、物語、歌、地名などのさまざまなかたちで残したもので、日本各地に伝わっています。「ここは地すべりが多い」など危険な場所を伝える記録や、「こうしたら助かった」など被害を減らすための知恵を伝え、防災意識を持たせることができます。例えば、かつぱが人や馬を水の中に引きずり込むという「かつぱ伝説」も災害伝承の一つです。妖怪のしわざとして子どもの興味を引き、危険な場所を正しく怖がらせるために語られました。この伝説が残る地域には、過去に川の氾濫が起きた記録があるそうです。皆さんが住む地域にも、災害伝承が残されているか、調べてみませんか？



(PHP研究所 3520円)



生活に影響する天気、気象

集 中豪雨や台風による洪水、土砂崩れなど、天気に関する心配事が多い季節になりました。私たちの生活に影響を及ぼす天気と気象について、興味を持つ、知るきっかけとなる本を紹介します。

(山梨県立図書館 岩谷紘香)

=毎月第2週に掲載します

中学生向け

空を見上げてわかること

身近だけど知らない気象予報士 齋田季実治著

ニュース番組の気象コーナーでおなじみの著者が、気象予報士の仕事をについて紹介する本です。子どものころから空を見上げるのが好きだったこと、ラグビーさんまいだった高校時代、気象予報士を目指すきっかけから気象キャスターとして活躍するまでの絆縁などが、将来の仕事について考え始める皆さんへのアドバイスとともに書かれています。刻一刻



と変わっていく天気の情報をリアルタイムで収集し、どのような内容を伝えるかを即座に判断して発信する気象キャスターの仕事内容や、普段の生活の中での天気の楽しみ方、災害時に役立つ気象情報、気象情報の未来など、身近なのにあまり知られていない気象予報士の世界を知ることができます。

(PHP研究所 1430円)